本資料のうち，枠囲みの内容は，
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所　工事計画審査資料	
資料番号	工認-485　改 4
提出年月日	平成 30 年 9 月 4 日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所　工事計画審査資料

原子炉格納施設のうち
圧力低減設備その他の安全設備の
放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備
（原子炉建屋ガス処理系）

（本文）

原子炉格納施設

3　圧力低減設備その他の安全設備

（7）　放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備

（7.1）　原子炉建屋ガス処理系

（7.1.1）　非常用ガス再循環系

ヌ　主要弁

・常設

ル　主配管

・常設

ヨ　排風機

・常設

a．非常用ガス再循環系排風機

タ　フィルター

・常設

a．非常用ガス再循環系フィルタトレイン

（7.1.2）　非常用ガス処理系

ヌ　主要弁

・常設

ル　主配管

・常設

ヨ　排風機

・常設

a．非常用ガス処理系排風機

タ　フィルター

・常設

a．非常用ガス処理系フィルタトレイン

(7)　放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

(7.1)　原子炉建屋ガス処理系

(7.1.1)　非常用ガス再循環系

ヌ　主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変　更　前*		変　更　後	
名称			SB2-4A，B		変更なし	
種類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72			
主要寸法	呼び径	－	600 A			
	弁箱厚さ	mm	[redacted]			
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個数		－	2			
取付箇所	系統名（ライン名）	－	SB2-4A 非常用ガス再循環系	SB2-4B 非常用ガス再循環系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-1	RB-5-1
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.38.80 m 以上	EL.38.80 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変更前*		変更後	
名称			SB2-5A，B		変更なし	
種類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72			
主要寸法	呼び径	－	600 A			
	弁箱厚さ	mm				
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個数		－	2			
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	SB2-5A 非常用ガス再循環系	SB2-5B 非常用ガス再循環系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m 以上	EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前*		変　更　後	
名称			SB2-7A，B		変更なし	
種類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72		86	
主要寸法	呼び径	－	600 A		変更なし	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]			
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個数		－	2			
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	SB2-7A 非常用ガス再循環系	SB2-7B 非常用ガス再循環系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m 以上	EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前*	変　更　後
名　称			SB2-12A	変更なし
種　類		－	止め弁	
最高使用圧力		MPa	0.014	
最高使用温度		℃	72	86
主要寸法	呼び径	－	600 A	変更なし
	弁箱厚さ	mm	[redacted]	
	弁ふた厚さ	mm		
材料	弁箱	－		
	弁ふた	－		
駆動方法		－	空気作動	
個　数		－	1	
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	SB2-12A 非常用ガス 再循環系	
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	
	溢水防護上の区画番号	－	－	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－		EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前*		変　更　後	
名称			SB2-13A，B		変更なし	
種類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72		86	
主要寸法	呼び径	－	600 A		変更なし	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]			
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個数		－	2			
取付箇所	系統名（ライン名）	－	SB2-13A 非常用ガス再循環系	SB2-13B 非常用ガス再循環系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m 以上	EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

ル　主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は，個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変更前							変更後						
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用ガス再循環系	*8 原子炉建屋空気取入口弁～非常用ガス再循環系フィルタトレイン	0.014*2	72	609.6	[redacted] (12.0*1)	SM41A	非常用ガス再循環系	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし*4		
									0.014	72	609.6	9.5*1, *4	STPT410
											609.6	[redacted] (9.5*1, *4)	SM400C
				406.4	[redacted] (9.5*1)	SM41B			変更なし	変更なし	変更なし*4		
		－							0.014*6	72*6	609.6*5 /406.4*5	[redacted] (9.5*1, *5) (9.5*1, *5)	SM41B*5
	*9 不活性ガス系～不活性ガス系合流点	0.014*2	72	609.6	[redacted] (12.0*1)	SM41A		変更なし					
	*9 原子炉棟換気系～原子炉棟換気系合流点	0.014*2	72	216.3	8.2*1	STPT42		変更なし					
	*10 非常用ガス再循環系フィルタトレイン～非常用ガス処理系分岐点～SB2-12A 及び SB2-13A，B	0.014*2	72	609.6	[redacted] (12.0*1)	SM41A		変更なし	変更なし	86	609.6	[redacted] (9*1)	SUS304
											749	1.5*1×1*7	SUS304
				355.6*3	[redacted] (12.0*1)	SM41A*3					609.6	[redacted] (9*1)	SUSF304
				355.6	19.0*1	STPT42					355.6	[redacted] (9*1)	SUSF304
		0.014*2	72	609.6	[redacted] (12.0*1)	SM41A		変更なし	変更なし	86	変更なし*4		

注記　＊1：公称値を示す。
＊2：ＳＩ単位に換算したもの。
＊3：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 6 月 2 日付け 51 資庁第 3467 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-2　非常用ガス再循環系配管の規格計算書」による。
＊4：エルボにあっては，管と同等以上の厚さのものを選定。
＊5：本設備は既存の設備である。
＊6：重大事故等時における使用時の値を示す。
＊7：1 層を示す。
＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋空気取入口弁よりフィルタトレインまで」と記載。
＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉棟換気系及び不活性ガス系より空気取入口管まで」と記載。
＊10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「フィルタトレインより非常用ガス処理系排風機への連絡管及び原子炉棟換気系への分岐管第 1 弁まで」と記載。

ヨ　排風機の名称，種類，容量，主要寸法，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

				変　更　前		変　更　後	
名　称				非常用ガス再循環系排風機		変更なし	
排風機	種類		－	遠心式*1			
	容量		m³/h/個	17000以上（17000*2，*3）			
	主要寸法	吸込口径	mm	365*3，*4			
		吐出口径	mm	350×600*3，*4			
		たて	mm	1370*3，*5			
		横	mm	2191.5*3，*5			
		高さ	mm	1400*3，*5			
	個数		－	2*6			
	取付箇所	系統名（ライン名）	－	非常用ガス再循環系排風機A 非常用ガス再循環系*4	非常用ガス再循環系排風機B 非常用ガス再循環系*4		
		設置床	－	原子炉建屋原子炉棟 EL.38.80 m*4	原子炉建屋原子炉棟 EL.38.80 m*4		
		溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m以上	EL.39.10 m以上

（続き）

			変　更　前	変　更　後
原動機	種　　類	－	誘導電動機*5	変更なし
	出　　力	kW/個	[redacted]	
	個　　数	－	2*6	
	取　付　箇　所	－	排風機と同じ*4	

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心型」と記載。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「17000 m^3/hr（全風圧 533 mmAq)」と記載。

＊3：公称値を示す。

＊4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 6 月 2 日付け 51 資庁第 3467 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-2 図　非常用ガス再循環系排風機外形図」による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2 台（1 台予備)」と記載。

タ　フィルター（公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る。）の名称，種類，効率，主要寸法，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変　更　前		変　更　後
名称			非常用ガス再循環系フィルタトレイン		変更なし
種類		－	粒子用高効率フィルタ*1	よう素用チャコールフィルタ	
*2 効率	単体	%	99.97 以上 （直径 0.5 μm 以上の粒子に対して*9）	[redacted]以上*5 （相対湿度 80 %以下，温度 60 ℃以下において，無機・有機よう素に対して）	
	総合	%	[redacted]以上*5	90 以上*4 （相対湿度 80 %以下，温度 60 ℃以下において，無機・有機よう素に対して）	
主要寸法	吸込口径	mm	[redacted]		
	吐出口径	mm			
	厚さ*7 吸込	mm			
	厚さ*7 吐出	mm			
	厚さ*7 ケーシング	mm			
	たて	mm			
	横	mm			
	高さ	mm			
個数		－	2*3		

（続き）

			変　更　前		変　更　後	
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	非常用ガス再循環系 フィルタトレインA 非常用ガス再循環系*5	非常用ガス再循環系 フィルタトレインB 非常用ガス再循環系*5	変更なし	
	設置床	－	原子炉建屋原子炉棟 EL. 38.80 m*5	原子炉建屋原子炉棟 EL. 38.80 m*5		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL. 39.10 m以上	EL. 39.10 m以上

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「前置粒子用高効率フィルタ」及び「後置粒子用高効率フィルタ」と記載。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「能力」と記載。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（1台予備）」と記載。

＊4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「90 %以上（系統効率）」と記載。

＊5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊6：公称値を示す。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「肉厚」と記載。

＊8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和51年6月2日付け51資庁第3467号にて認可された工事計画の添付図面「Ⅲ-1-1　非常用ガス再循環系フィルタトレインの規格計算書」による。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「直径０．５ミクロン以上の粒子に対して」と記載。

(7.1.2)　非常用ガス処理系

ヌ　主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変　更　前*		変　更　後	
名称			SB2-9A，B		変更なし	
種類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72		86	
主要寸法	呼び径	－	450 A		変更なし	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]			
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個数		－	2			
取付箇所	系統名（ラインン名）	－	SB2-9A 非常用ガス処理系	SB2-9B 非常用ガス処理系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m 以上	EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変　更　前*		変　更　後	
名　　称			SB2-11A，B		変更なし	
種　　類		－	止め弁			
最高使用圧力		MPa	0.014			
最高使用温度		℃	72		86	
主要寸法	呼び径	－	450 A		変更なし	
	弁箱厚さ	mm	[redacted]			
	弁ふた厚さ	mm				
材料	弁箱	－				
	弁ふた	－				
駆動方法		－	空気作動			
個　　数		－	2			
取付箇所	系統名（ライン名）	－	SB2-11A 非常用ガス処理系	SB2-11B 非常用ガス処理系		
	設置床	－	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m	原子炉建屋 原子炉棟 EL.38.80 m		
	溢水防護上の区画番号	－	－		RB-5-14	RB-5-14
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	－			EL.39.10 m 以上	EL.39.10 m 以上

注記　＊：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

ル　主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料（常設及び可搬型の別に記載し，可搬型の場合は個数及び取付箇所を付記すること。）

・常設

変更前							変更後						
	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料		名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料
非常用ガス処理系	*9 非常用ガス処理系分岐点 ～ 非常用ガス処理系フィルタトレイン	0.014*2	72	457.2	[redacted] (14.3*1)	SM41B	非常用ガス処理系	変更なし	変更なし	86	変更なし		
											457.2	[redacted] (14.3*1)	SM400C
									0.014*7	86*7	457.2 /355.6	14.3*1 /11.1*1	STPT410
									変更なし	86	355.6	11.1*4	STPT410
											457.2	[redacted] (8.0*1)	SUS304
									0.014*7	86*7	559.0	1.5*1×1*10	SUS304
	*11 非常用ガス処理系フィルタトレインA ～ 非常用ガス処理系フィルタトレイン出口管合流点	0.014*2	72	457.2	[redacted] (14.3*1)	SM41B		変更なし	変更なし	86	変更なし*4		
	*11 非常用ガス処理系フィルタトレインB ～ 耐圧強化ベント系配管合流点	0.014*2	72	457.2	[redacted] (14.3*1)	SM41B		変更なし	変更なし	86	変更なし*4		
	*11 耐圧強化ベント系配管合流点 ～ 非常用ガス処理系フィルタトレイン出口管合流点	—						*6 耐圧強化ベント系配管合流点 ～ 非常用ガス処理系フィルタトレイン出口管合流点	0.62*7	200*7	457.2*5 /457.2*5 /318.5*5	[redacted] (14.3*1, *5) (14.3*1, *5) (10.3*1, *5)	SM400B*5
		0.014*2	72	457.2	[redacted] (14.3*1)	SM41B			変更なし 0.62*7	86 200*7	変更なし		
	*11 非常用ガス処理系フィルタトレイン出口管合流点 ～ 非常用ガス処理系排気筒接続部	0.014*2	72	457.2	[redacted] (14.3*1)	SM41B		*6 非常用ガス処理系フィルタトレイン出口管合流点 ～ 非常用ガス処理系排気筒接続部	変更なし 0.62*7	86 200*7	変更なし		
		0.014*2	72	457.2*3	[redacted] (14.3*1)	SM400B*3			変更なし 0.62*7	86 200*7	457.2	[redacted] (14.3*1, *4)	SM400C
											457.2	[redacted] (14.3*1)	SFVC2B
		0.014*2	72	555.6*3	1.2*1, *3	SUS316*3			変更なし 0.62*7	86 200*7	457.2	14.3*1	SUS316TP
											457.2	[redacted] (14.3*1, *4)	SUS316
		—							0.62*7	200*7	550.0	1.5*1×2*8	SUS316
											558.0	1.5*1×2*8	SUS316

注記　＊1：公称値を示す。

＊2：ＳＩ単位に換算したもの。

＊3：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 6 月 2 日付け 51 資庁第 3467 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-4　非常用ガス処理系配管の規格計算書」による。

＊4：エルボにあっては，管と同等以上の厚さのものを選定。

＊5：本設備は既存の設備である。

＊6：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）と兼用する。

＊7：重大事故等時における使用時の値を示す。

＊8：2 層を示す。

＊9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「非常用ガス再循環系排風機出口連絡管よりフィルタトレインまで」と記載。

＊10：1 層を示す。

＊11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「フィルタトレインより非常用ガス処理系排気筒接続部まで」と記載。

(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る次の事項

(7.1) 原子炉建屋ガス処理系

(7.1.2) 非常用ガス処理系

ヨ 排風機の名称，種類，容量，主要寸法，個数及び取付箇所並びに原動機の種類，出力，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

				変 更 前		変 更 後*7
名称				非常用ガス処理系排風機		変更なし
排風機	種類		―	遠心式*1		
	容量		m³/h/個	3570以上（3570*2，*3）		
	主要寸法	吸込口径	mm	500*3，*4		343.6*3
		吐出口径	mm	350×600*3，*4		202×338*3
		たて	mm	1620*3，*5		881*3
		横	mm	1127*3，*5		1595*3
		高さ	mm	1400*3，*5		1197.5*3
	個数		―	2*6		変更なし
	取付箇所	系統名（ラインン名）	―	非常用ガス処理系排風機A*4 非常用ガス処理系	非常用ガス処理系排風機B*4 非常用ガス処理系	
		設置床	―	原子炉建屋原子炉棟 EL.38.80 m*4	原子炉建屋原子炉棟 EL.38.80 m*4	

（続き）

				変　更　前	変　更　後*7	
排風機	取付箇所	溢水防護上の区画番号	－	－	RB-5-14	RB-5-14
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	－		EL.39.10 m以上	EL.39.10 m以上
原動機	種類		－	誘導電動機*5	変更なし	
	出力		kW/個	[redacted]	[redacted]	
	個数		－	2*6	変更なし	
	取付箇所		－	排風機と同じ*4		

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心型」と記載。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「3570 m^3/hr（全風圧 153 mmAq)」と記載。

＊3：公称値を示す。

＊4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和 51 年 6 月 2 日付け 51 資庁第 3467 号にて認可された工事計画の添付図面「第 3-6 図　非常用ガス処理系排風機外形図」による。

＊6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2 台（1 台予備)」と記載。

＊7：本設備は取替を実施する。

タ　フィルター（公衆の放射線障害の防止を目的として設置するものに限る。）の名称，種類，効率，主要寸法，個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

				変　更　前		変　更　後
名称				非常用ガス処理系フィルタトレイン		変更なし
種類			－	粒子用高効率フィルタ	よう素用チャコールフィルタ	
効率*1	単体		%	99.97 以上 （直径 0.5 μm 以上の粒子に対して*8）	[redacted]以上*4 （相対湿度 80 %以下，温度 60 ℃以下において，無機・有機よう素に対して）	
効率*1	総合		%	[redacted]以上*4	97 以上*3 （相対湿度 80 %以下，温度 60 ℃以下において，無機・有機よう素に対して）	
主要寸法	吸込口径		mm	[redacted]		
主要寸法	吐出口径		mm	[redacted]		
主要寸法	厚さ*7	吸込	mm	[redacted]		
主要寸法	厚さ*7	吐出	mm	[redacted]		
主要寸法	厚さ*7	ケーシング	mm	[redacted]		
主要寸法	たて		mm	[redacted]		
主要寸法	横		mm	[redacted]		
主要寸法	高さ		mm	[redacted]		
個数			－	2*2		

（続き）

<table>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">変　更　前</td><td colspan="2">変　更　後</td></tr>
<tr><td rowspan="4">取付箇所</td><td>系統名
（ラインン名）</td><td>－</td><td>非常用ガス処理系
フィルタトレインA
非常用ガス処理系*4</td><td>非常用ガス処理系
フィルタトレインB
非常用ガス処理系*4</td><td colspan="2" rowspan="2">変更なし</td></tr>
<tr><td>設置床</td><td>－</td><td>原子炉建屋原子炉棟
EL.38.80 m*4</td><td>原子炉建屋原子炉棟
EL.38.80 m*4</td></tr>
<tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>－</td><td colspan="2" rowspan="2">－</td><td>RB-5-14</td><td>RB-5-14</td></tr>
<tr><td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td><td>－</td><td>EL.39.10 m以上</td><td>EL.39.10 m以上</td></tr>
</table>

注記　＊1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「能力」と記載。

＊2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（1台予備）」と記載。

＊3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「97 %以上（系統効率）」と記載。

＊4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

＊5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，昭和51年6月2日付け51資庁第3467号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-3　非常用ガス処理系フィルタトレインの規格計算書」による。

＊6：公称値を示す。

＊7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「肉厚」と記載。

＊8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「直径０．５ミクロン以上の粒子に対して」と記載。

表1　原子炉格納施設の主要設備リスト（38／49）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
圧力低減設備その他の安全設備	放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	原子炉建屋ガス処理系 非常用ガス再循環系 主要弁	SB2-4A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－
			SB2-5A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－
			SB2-7A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－
			SB2-12A	S	クラス２	－		変更なし			－	－
			SB2-13A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－
		主配管	原子炉建屋空気取入口弁 ～ 非常用ガス再循環系フィルタトレイン	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
			不活性ガス系 ～ 不活性ガス系合流点	S	クラス４	－		変更なし			－	－
			原子炉棟換気系 ～ 原子炉棟換気系合流点	S	クラス４	－		変更なし			－	－
			非常用ガス再循環系フィルタトレイン ～ 非常用ガス処理系分岐点 ～ SB2-12A及びSB2-13A,B	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
		排風機	非常用ガス再循環系排風機	S	－	－		変更なし			常設／緩和	－
		フィルター	非常用ガス再循環系フィルタトレイン	S	－	－		変更なし			常設／緩和	－
		非常用ガス処理系 主要弁	SB2-9A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－
			SB2-11A，B	S	クラス２	－		変更なし			－	－

表1　原子炉格納施設の主要設備リスト（39／49）

設備区分	系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
圧力低減設備その他の安全設備 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	原子炉建屋ガス処理系 非常用ガス処理系	主配管	非常用ガス処理系分岐点 ～ 非常用ガス処理系フィルタトレイン	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
			非常用ガス処理系 フィルタトレインA ～ 非常用ガス処理系 フィルタトレイン出口管合流点	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
			非常用ガス処理系 フィルタトレインB ～ 耐圧強化ベント系配管合流点	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
			耐圧強化ベント系配管合流点 ～ 非常用ガス処理系 フィルタトレイン出口管合流点	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
			非常用ガス処理系 フィルタトレイン出口管合流点 ～ 非常用ガス処理系排気筒接続部	S	クラス４	－		変更なし			常設／緩和	ＳＡクラス２
		排風機	非常用ガス処理系排風機	S	－	－		変更なし			常設／緩和	－
		フィルター	非常用ガス処理系フィルタトレイン	S	－	－		変更なし			常設／緩和	－

表1　原子炉格納施設の主要設備リスト（49／49）

設備区分		系統名	機器区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更前 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設 *1 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設 *1 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備 *1 設備分類	変更後 重大事故等対処設備 *1 重大事故等機器クラス
その他の安全設備	圧力逃がし装置	代替水源供給設備	主配管	－					取水用5mホース	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３
									送水用5m，10m，50mホース	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３

注記　＊1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「５　原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。
＊2：当該ラインについては，主配管に該当しないため記載の適正化を行う。
＊3：本設備は記載の適正化のみを行うものであり，手続き対象外である。
＊4：管の機器クラスを示す。
＊5：管を除く配管貫通部の機器クラスを示す。
＊6：格納容器貫通部のうち管を示す。

表2　原子炉格納施設の兼用設備リスト（5／5）

設備区分	系統名	機器区分	主たる機能の施設／設備区分	変更前 名称	変更前 設計基準対象施設＊ 耐震重要度分類	変更前 設計基準対象施設＊ 機器クラス	変更前 重大事故等対処設備＊ 設備分類	変更前 重大事故等対処設備＊ 重大事故等機器クラス	変更後 名称	変更後 設計基準対象施設＊ 耐震重要度分類	変更後 設計基準対象施設＊ 機器クラス	変更後 重大事故等対処設備＊ 設備分類	変更後 重大事故等対処設備＊ 重大事故等機器クラス
圧力低減設備その他の安全設備 格納容器再循環設備並びに可燃性ガス濃度制御設備及び放射性物質濃度制御設備	原子炉建屋ガス処理系 非常用ガス処理系	－	放射性廃棄物の廃棄施設 気体，液体又は固体廃棄物処理設備	－					非常用ガス処理系排気筒	－	－	常設／緩和	－
圧力逃がし装置	格納容器圧力逃がし装置	－	原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	－					可搬型代替注水大型ポンプ	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３
									可搬型代替注水中型ポンプ	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３
									代替淡水貯槽	－	－	常設／緩和	ＳＡクラス２
									西側淡水貯水設備	－	－	常設／緩和	ＳＡクラス２
	代替水源供給設備	－	原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	－					可搬型代替注水大型ポンプ	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３
									可搬型代替注水中型ポンプ	－	－	可搬／緩和	ＳＡクラス３
									代替淡水貯槽	－	－	常設／緩和	ＳＡクラス２
									西側淡水貯水設備	－	－	常設／緩和	ＳＡクラス２

注記　＊：表2に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「５ 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による